

土壌汚染状況調査結果報告シート

1. 調査概要			
土壌汚染状況 調査の対象地	住居表示	八王子市	石川町2967番5
	地番	八王子市	石川町2967番5の一部
	今回報告範囲 ※全体の対象地に対し、分割して報告する場合		
工業専用地域の有無	有	対象地の用途地域が工業専用地域である場合（対象地の一部も含む）は「有」を選択してください。	
条例施行規則第55条第3項地域の有無	無	第55条第3項地域については、環境局ホームページの「埋立地の特例の対象地域参考図」をご参照ください。	
深度限定の有無	無		
調査省略の有無	無		
省略する調査（複数選択可）	省略する範囲		
	全て		
	地歴調査（汚染のおそれのある物質の絞り込み）		
	汚染のおそれの分類		
	土壌ガス調査（第一種）		
	表層土壌調査（第二種・第三種）		
	土壌ボーリング調査（第一種）		
	一部対象区画における個別調査（第二種・第三種）		
	代表地点地下水調査（条例）		
	対象地境界地下水調査（条例）		
省略の詳細 （省略する区画名及び調査の内容）			
省略の理由			
指定調査機関名	株式会社環境管理センター		
指定調査機関の指定番号	2003-8-3036		
準拠法令等	●	土壌汚染対策法（平成14年法律第53号）	
	●	同法施行令（平成14年政令第336号）、同法施行規則（平成14年環境省令第29号）	
	●	土壌汚染対策法に基づく調査及び措置に関するガイドライン（最新版 環境省水・大気環境局土壌環境課）	
	●	都民の健康と安全を確保する環境に関する条例（平成12年東京都条例第215号）	
	●	東京都土壌汚染対策指針（平成31年4月1日施行）	

2. 地歴調査結果概要（調査対象地の土壌汚染のおそれの把握）		
有害物質取扱事業場の設置履歴	有	
		昭和38年から現在に至るまで日本分光株式会社がある。
特定有害物質の使用状況とその形態		1号館1階では、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、ジクロロエタン、1,1,1-トリクロロエタン、カドミウム、六価クロム、水銀、セレン、砒素、ほう素、鉛を含む薬品を使用、保管しており、2階では、四塩化炭素、1,1,2-トリクロロエタン、ジクロロメタン、ベンゼン、カドミウム、六価クロム、水銀、セレン、砒素、ふっ素、ほう素、シアンを含む薬品を使用しており、2号館では、過去に1階でふっ素を含む薬品を使用していた。ボイラー室(コンプレッサー室)では、水銀を含む薬品を使用している。特定有害物質を含む廃液等はポリタンクやドラム缶に回収し、丸屋根棟(3号館)の特別産業廃棄物置場と丸屋根棟(3号館)を通り廃棄物置場及び危険物置場に保管している。
地表の高さの変更(盛土、埋土等)の経緯	無	
既往調査・対策の経緯	無	
その他の経緯	無	
汚染のおそれとその由来	●	人為由来による汚染のおそれがある (おそれを否定できない)
		自然由来による汚染のおそれがある
		水面埋立て用材料による汚染のおそれがある
試料採取等対象物質の種類とその理由	四塩化炭素	分析機器の製造、加工に含有
	1,1,2-トリクロロエタン	分析機器の製造、加工に含有
	1,1,1-トリクロロエタン	分析機器の製造、加工に含有
	ジクロロメタン	分析機器の製造、加工に含有
	ベンゼン	分析機器の製造、加工に含有
	六価クロム化合物	分析機器の製造、加工に含有
	セレン及びその化合物	分析機器の製造、加工に含有
	カドミウム及びその化合物	分析機器の製造、加工に含有
	水銀及びその化合物	分析機器の製造、加工に含有
	鉛及びその化合物	分析機器の製造、加工に含有
	砒素及びその化合物	分析機器の製造、加工に含有
	ふっ素及びその化合物	分析機器の製造、加工に含有
	ほう素及びその化合物	分析機器の製造、加工に含有
	シアン化合物	分析機器の製造、加工に含有
	1,2-ジクロロエタン	分析機器の製造、加工に含有
	使用の可能性が否定できないものの試料採取等の対象としない特定有害物質とその理由	
調査対象地 (試料採取等を行った土地の地番)	東京都八王子市石川町2967番5	
調査対象地面積	4788.750	m ²
土壌汚染のおそれの区分の分類(平面)	土壌汚染が存在するおそれが比較的多いと認められる土地	1号館、2号館1階資料置場、丸屋根棟特別産業廃棄物置場、危険物置場、廃棄物置場、ボイラー室

	土壌汚染が存在するおそれがないと認められる土地	従業員駐車場、緑地
汚染のおそれが生じた場所の位置（断面）	現地表面の汚染のおそれの有無とその理由	有
		地表の高さが変更された履歴は確認されなかったため、現地表面を汚染のおそれが生じた位置とした。
	現在の地表より深い位置の汚染のおそれの有無とその理由及び深度	無
		理由 該当なし
		深度 該当なし

3. 調査方法		
3-1. 単位区画の設定		別紙「単位区画の設定」のとおり
3-2. 土壌調査方法		
現地試料採取 期間	ガス採取	令和7年5月7日
	土壌採取	令和7年5月7日～令和7年5月8日
室内分析期間		令和7年5月9日～令和7年5月14日
試料採取等対 象物質と試料 採取を行う区 画の選定	全部対象区画	有害物質を過去に取り扱っている範囲及び現在も取り扱っている範囲は、全部対象区画とした。
	一部対象区画	廃棄物置場までの移動経路、来客用駐車場になっている範囲は、一部対象区画とした。
第一種特定有 害物質の土壌 ガス採取方法	全部対象区画	全部対象区画は、単位区画毎に、土壌汚染のおそれが多いと認められる部分で現地表から0.8～1mの深度の地中において土壌ガスを採取した。
	一部対象区画	一部対象区画は、30m格子の中心を含む単位区画の1地点で、現地表から0.8～1mの深度の地中において土壌ガスを採取した。
	一部対象区画において土壌 ガスが検出された30m格子	該当なし
	トラベルブランク試験の 有無	有
	値の補正の有無	無
		濃度の増減は± 20 %未満
第一種特定有害物質のボーリングによる 試料採取方法		
	帯水層底面が 確認された深度	該当なし
		該当なし m
第二種、第三 種特定有害物 質の試料採取 方法	全部対象区画	該当なし
	一部対象区画	該当なし

3－3．地下水調査方法		
現地試料採取 期間	代表地点	
	対象地境界	
室内分析期間	代表地点	
	対象地境界	
代表 地 点	地下水採取等対象物質と地下水採取を 行う位置の選定（平面）	
	地下水採取等対象物質と地下水採取を 行う深さの選定（断面）	
	帯水層底面が 確認された深度	
		m
対 象 地 境 界	地下水採取等対象物質と地下水採取を 行う位置の選定（平面）	
	地下水採取等対象物質と地下水採取を 行う深さの選定（断面）	
	帯水層底面が 確認された深度	
		m
下水試料採取方法		

単位区画の設定

※汚染状況調査方法（法、条例）の単位区画の設定について記入してください。

※記載行が足りない場合は25番目の行をコピーして行を追加してください。

連番	起点の位置			起点の高さ			起点の高さを計測した場所（面）	北の定義	回転角度			その他
	X座標	Y座標	その他	高さ（m）	高さ（m）	その他（m）			度	分	秒	
1	-36276.594	-42508.230	TP		113.974		境界杭等の頭	座標北	26	50	47.00	
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												

この行より上に行を追加してください。

4. 調査結果概要

分類	調査対象物質	土壌ガス					土壌ガス（地下水）				
		基準 (ppm) ＊	調査 対象 区画数	最大 濃度 (ppm)	ガス 検出 区画数	試料 採取等 の省略	基準 (mg/ l)	調査 対象 区画数	測定 結果 (mg/ l)	基準 超過 区画数	試料 採取等 の省略
第一種特定有害物質 （揮発性有機化合物）	トリクロロエチレン	0.1					0.01				
	テトラクロロエチレン	0.1					0.01				
	ジクロロメタン	0.1	53	ND	0	無	0.02				
	クロロエチレン	0.1	53	ND	0	無	0.002				
	四塩化炭素	0.1	53	ND	0	無	0.002				
	1, 2-ジクロロエタン	0.1	53	ND	0	無	0.004				
	1, 1-ジクロロエチレン	0.1	53	ND	0	無	0.1				
	1, 2-ジクロロエチレン	0.1	53	ND	0	無	0.04				
	1, 1, 1-トリクロロエタン	0.1	53	ND	0	無	1				
	1, 1, 2-トリクロロエタン	0.1	53	ND	0	無	0.006				
	1, 3-ジクロロプロペン	0.1					0.002				
	ベンゼン	0.05	53	ND	0	無	0.01				

分類	調査対象物質	基準 (mg/ l) *	溶出量調査					代表地点における 地下水調査				対象地境界における 地下水調査				
			調査 対象 区画数	最深 調査 深度 (m) 注1	最大 濃度 (mg/ l)	最大 汚染 深度 (m) 注1	基準 超過 区画数 注3	試料 採取等 の省略	試料 採取 区画数	最大 濃度 (mg/ l)	基準 超過 区画数	試料 採取等 の省略	試料 採取 地点数	最大 濃度 (mg/ l)	基準 超過 地点数	試料 採取等 の省略
第一種特定有害物質 (揮発性有機化合物)	トリクロロエチレン	0.01														
	テトラクロロエチレン	0.01														
	ジクロロメタン	0.02														
	クロロエチレン	0.002														
	四塩化炭素	0.002														
	1, 2-ジクロロエタン	0.004														
	1, 1-ジクロロエチレン	0.1														
	1, 2-ジクロロエチレン	0.04														
	1, 1, 1-トリクロロエタン	1														
	1, 1, 2-トリクロロエタン	0.006														
	1, 3-ジクロロプロペン	0.002														
ベンゼン	0.01															
第二種特定有害物質 (重金属等)	カドミウム及びその化合物	0.003	53		ND		0	無								
	シアン化合物	0.1	53		ND		0	無								
	鉛及びその化合物	0.01	53		0.001		0	無								
	六価クロム化合物	0.05	53		ND		0	無								
	砒素及びその化合物	0.01	53		ND		0	無								
	水銀及びその化合物	0.0005	53		ND		0	無								
	セレン及びその化合物	0.01	53		ND		0	無								
	ほう素及びその化合物	1	53		ND		0	無								
	ふっ素及びその化合物	0.8	53		0.11		0	無								
第三種特定有害物質 (農薬等)	有機燐化合物	0.1														
	ポリ塩化ビフェニル	0.0005														
	チウラム	0.006														
	シマジン	0.003														
	チオベンカルブ	0.02														

*基準欄の斜字 : の基準は、「不検出」を示す。

分類	調査対象物質	含有量調査						
		基準 (mg/kg)	調査 対象 区画数	最深 調査 深度 (m)	最大 濃度 (mg/kg)	最大 汚染 深度 (m)	基準 超過 区画数	試料 採取等 の省略
特定有害物質 (重金属等)	カドミウム及びその化合物	45	53		ND		0	無
	シアン化合物	50	53		ND		0	無
	鉛及びその化合物	150	53		61		0	無
	六価クロム化合物	250	53		ND		0	無
	砒素及びその化合物	150	53		ND		0	無
	水銀及びその化合物	15	53		ND		0	無
	セレン及びその化合物	150	53		ND		0	無
	ほう素及びその化合物	4000	53		ND		0	無
	ふっ素及びその化合物	4000	53		120		0	無
基準不適合範囲の地番								
基準不適合範囲の面積 (注) 2 (m ²)		0.000						
備考	調査対象区画数	53			区画			
	濃度範囲の数値の着色は基準不適合又は第二溶出量基準不適合であることを示す。							

● 区画数は、調査対象地内の単位区画(10mメッシュ)の合計数を記載ください。

①30mメッシュの調査（一部調査対象区画の調査）を行った範囲については調査対象区画数、自然由来特例調査を行った範囲についてはその間の対象区画数として計算してください。

②第一種特定有害物質の溶出量調査で代表地点でボーリングを行った場合は、ガス検出範囲を含めた区画数で計算してください。

③統合された区画は1区画と数えてください。

④土壌汚染の存在するおそれがないと認められる範囲の区画数は含めないでください。

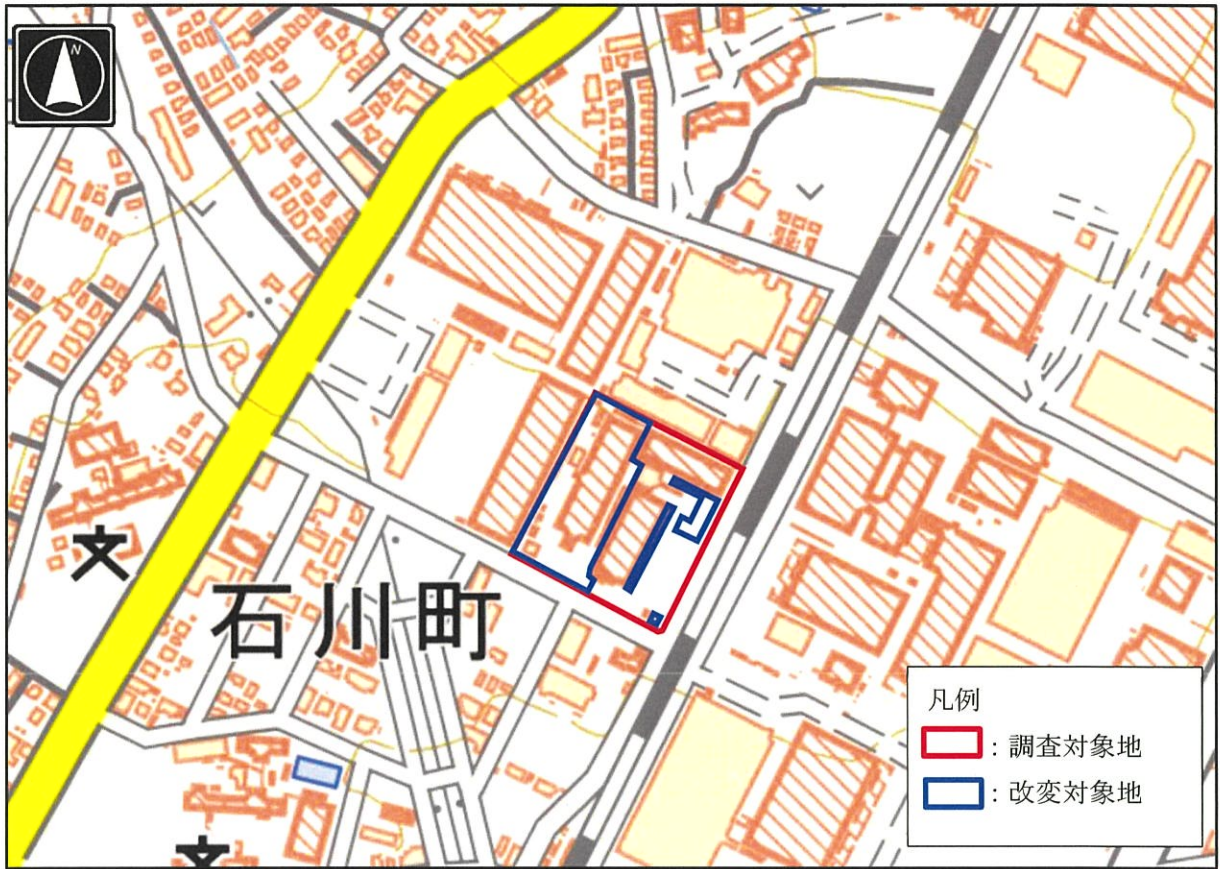
⑤全体の調査範囲に対し、分割して報告書を作成している場合、原則、当報告書で報告する範囲の区画数でまとめてください。

注) 1 第二種特定有害物質及び第三種特定有害物質の詳細調査の結果を報告する場合は、詳細調査(深度方向調査)結果報告シートを作成してください。
なお、詳細調査結果は、法に基づく調査の場合は第7条第1項又は第12条第1項、条例に基づく調査の場合は第117条第3項の届出で報告してもかまいません。

注) 2 土壌ガス等を検出しボーリング調査を実施した場合には、ボーリング調査結果も踏まえて基準不適合範囲の面積を記入してください。

注) 3 第一種ボーリング調査結果については、代表地点以外の調査結果も含めて基準超過と評価される区画数を記載してください。

調査対象地の周辺の地図

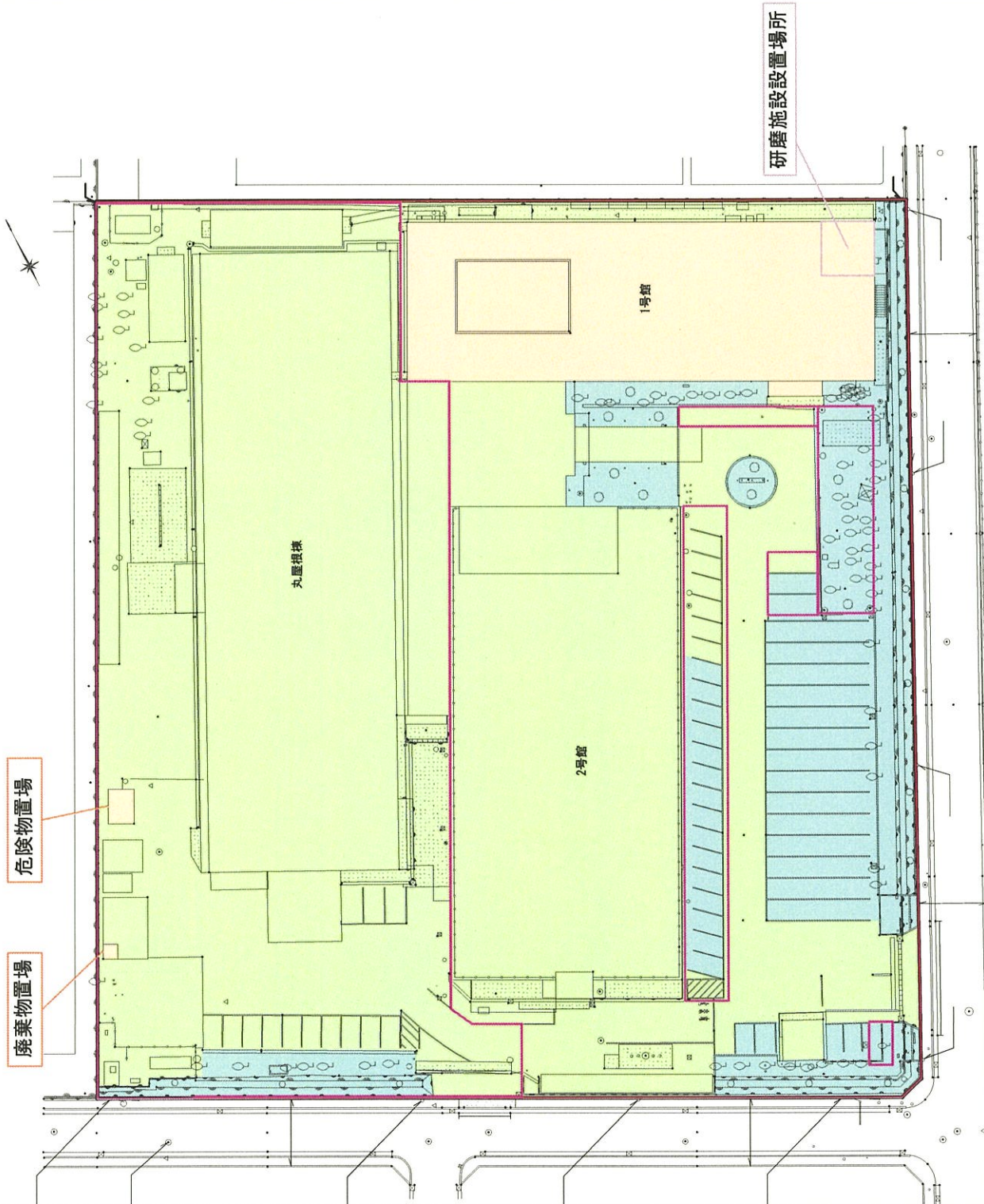


出典：「地理院地図」（国土地理院）

汚染のおそれの区分図

[凡例]

- : 敷地範囲
- : 調査対象地 (改変範囲)
- : 既存建物
- : 土壌汚染が存在するおそれがある土地
- : 比較的多いと認められる土地
- : 土壌汚染が存在するおそれがある土地
- : 少ないと認められる土地
- : 土壌汚染が存在するおそれがないと認められる土地

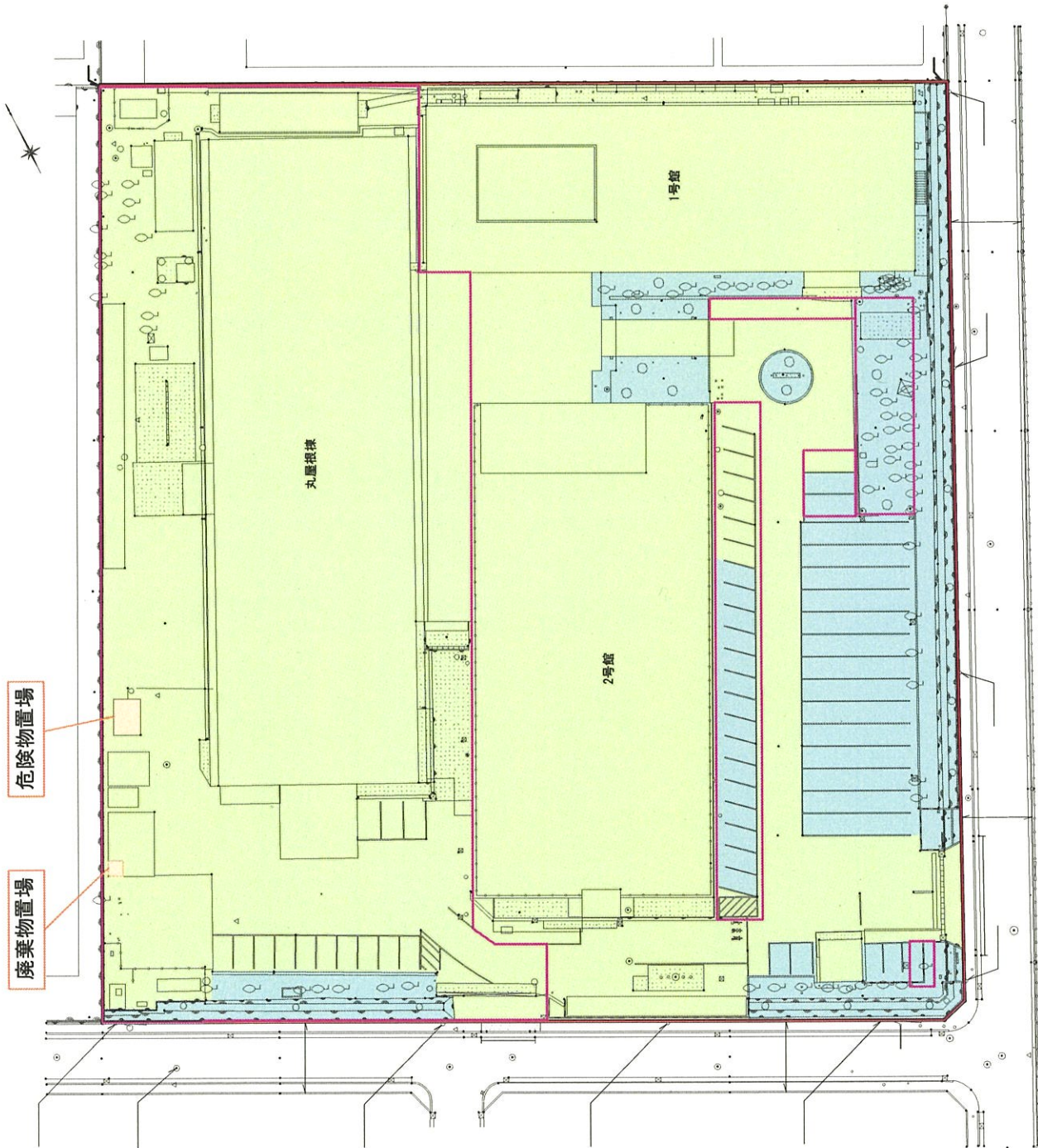


汚染のおそれの区分図

(1.1.1-トリクロロエタン、1.1-ジクロロエタン、クロロエチレン、ジクロロメタン、四塩化炭素)

[凡例]

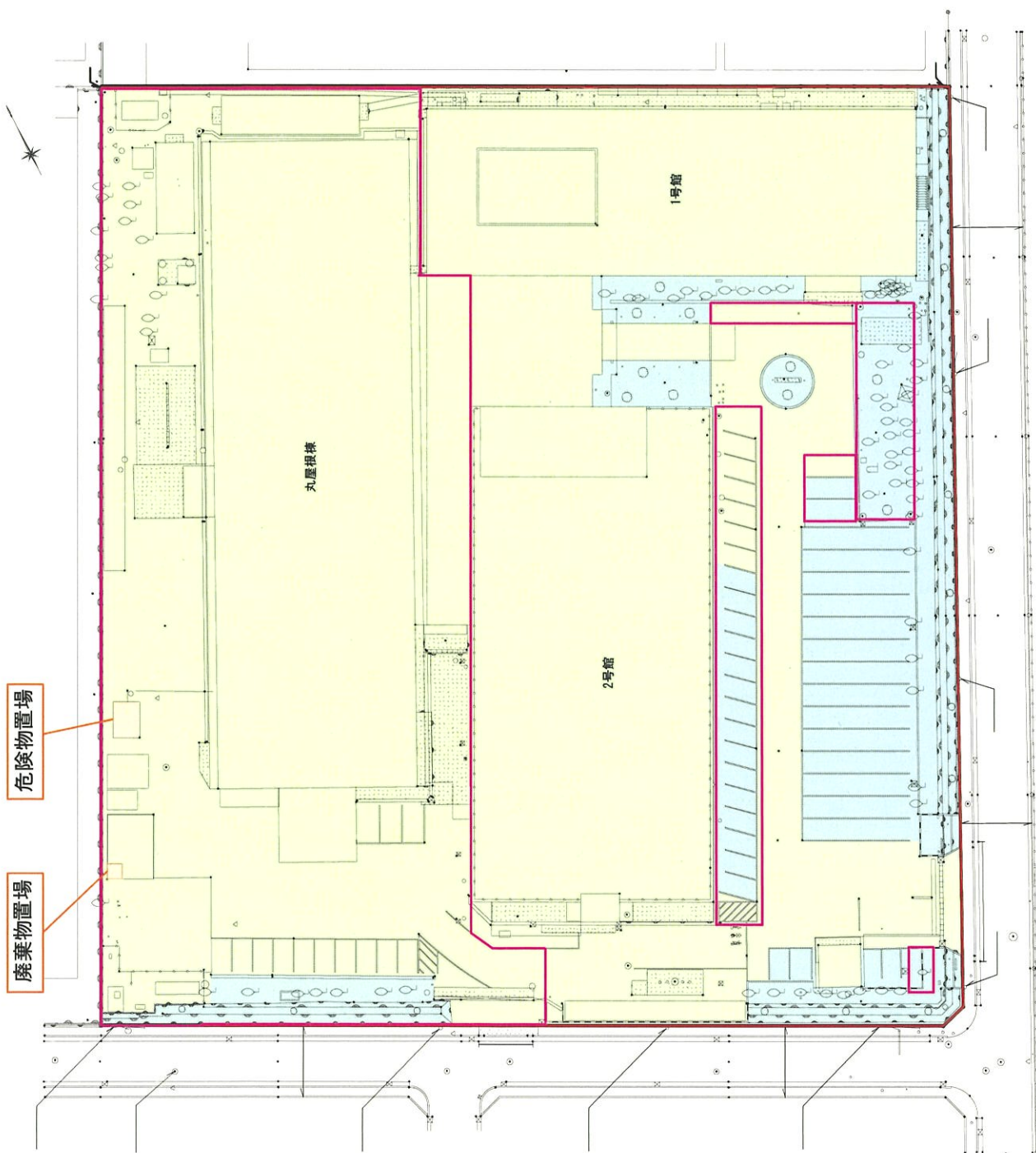
- 敷地範囲
- 調査対象地(改変範囲)
- 既存建物
- 土壌汚染が存在するおそれがある土地
- 比較的多いと認められる土地
- 土壌汚染が存在するおそれがある土地
- 少ないと認められる土地
- 土壌汚染が存在するおそれがないと認められる土地



汚染のおそれの区分図
(1,1,2-トリクロロエタン、1,2-ジクロロエチレン、ベンゼン)

[凡例]

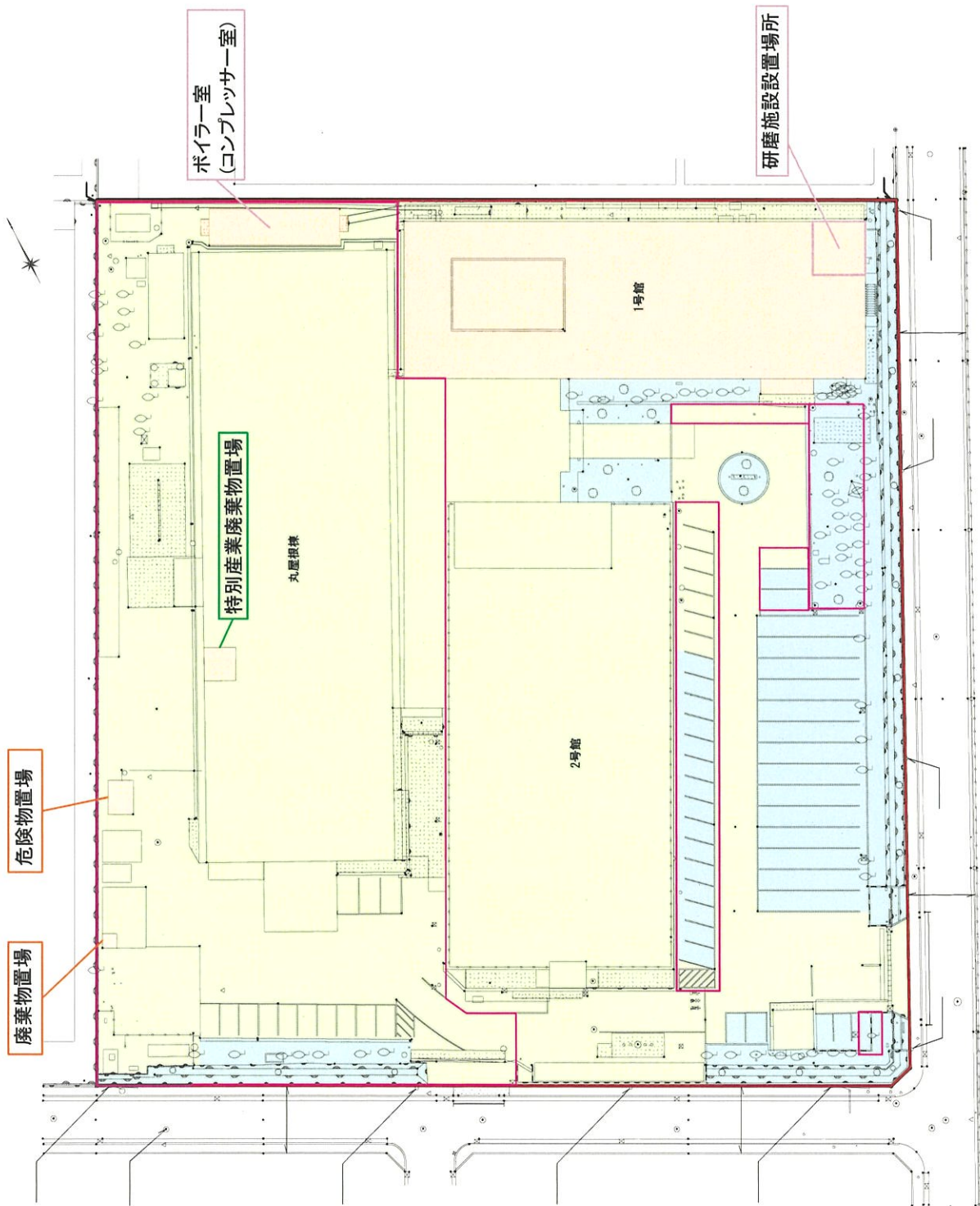
- : 敷地範囲
- : 調査対象地 (改変範囲)
- : 既存建物
- : 土壌汚染が存在するおそれがある土地
- : 比較的多いと認められる土地
- : 土壌汚染が存在するおそれがある土地
- : 少ないと認められる土地
- : 土壌汚染が存在するおそれがないと認められる土地



汚染のおそれの区分図 (シアン化合物)

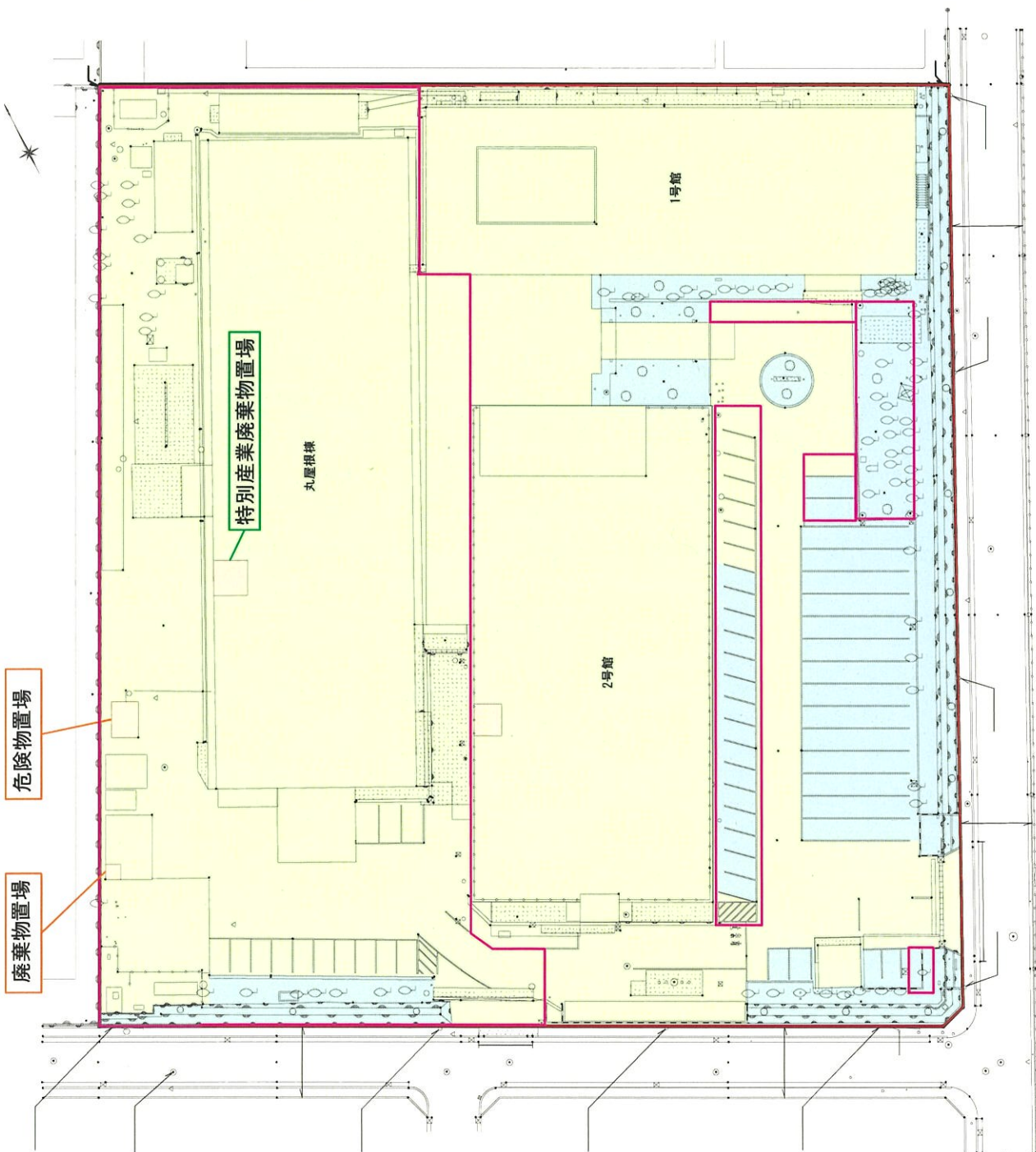
[凡例]

- : 敷地範囲
- : 調査対象地(改変範囲)
- : 既存建物
- : 土壌汚染が存在するおそれがある土地
- : 比較的多いと認められる土地
- : 土壌汚染が存在するおそれがある土地
- : 少ないと認められる土地
- : 土壌汚染が存在するおそれがないと認められる土地



[凡例]

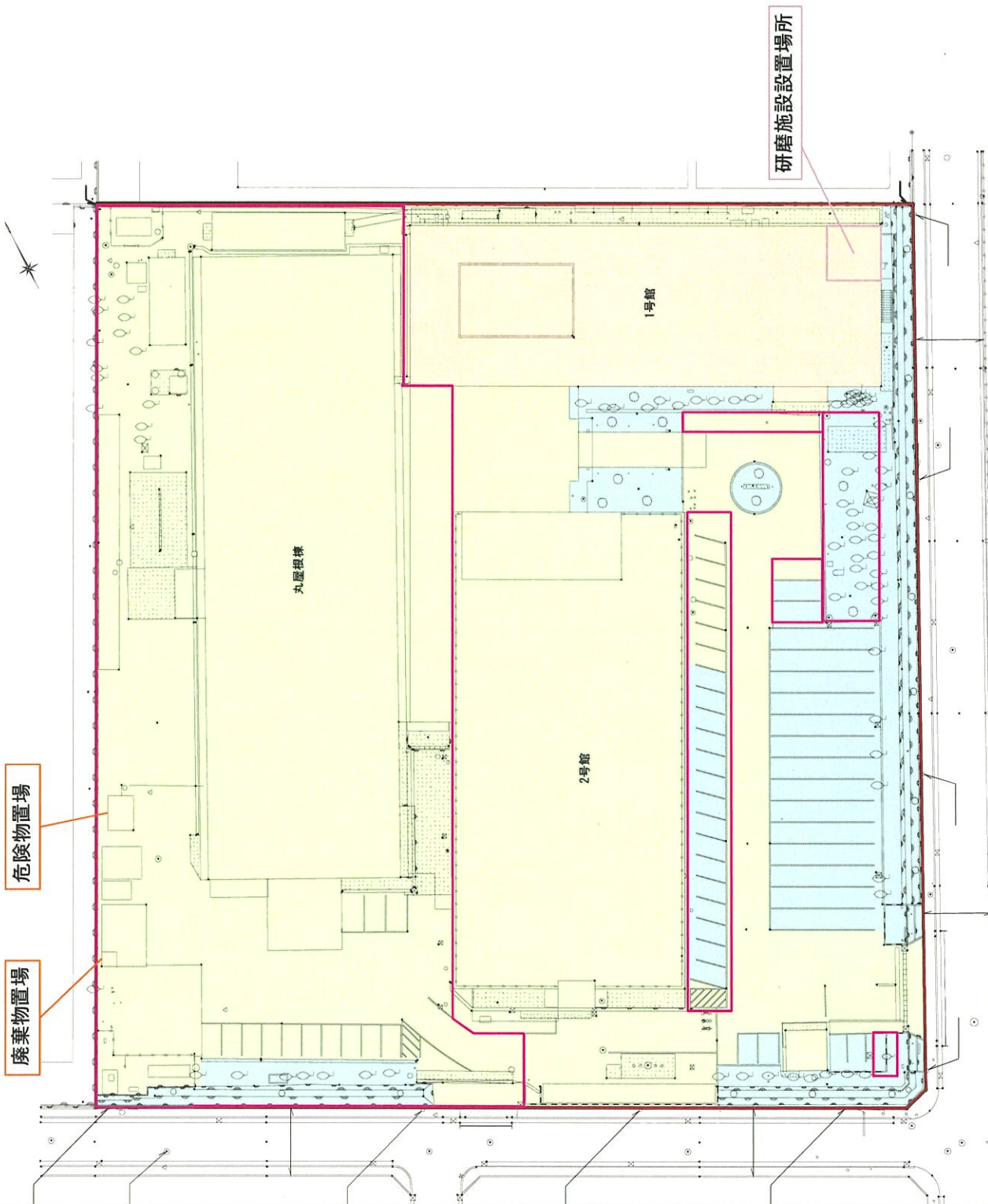
- : 敷地範囲
- : 調査対象地 (敷地範囲)
- : 既存建物
- : 土壌汚染が存在するおそれ比較的多いと認められる土地
- : 土壌汚染が存在するおそれ少ないと認められる土地
- : 土壌汚染が存在するおそれないと認められる土地



汚染のおそれの区分図 (ふっ素及びその化合物)

[凡例]

- : 敷地範囲
- : 調査対象地 (改変範囲)
- : 既存建物
- : 土壌汚染が存在するおそれがある
比較的多いと認められる土地
- : 土壌汚染が存在するおそれがある
少ないと認められる土地
- : 土壌汚染が存在するおそれがないと認められる土地



汚染のおそれの区分図

(カドミウム及びその化合物、六価クロム化合物、セレン及びその化合物、鉛及びその化合物、砒素及びその化合物、ほう素及びその化合物)

試料採取等区画図

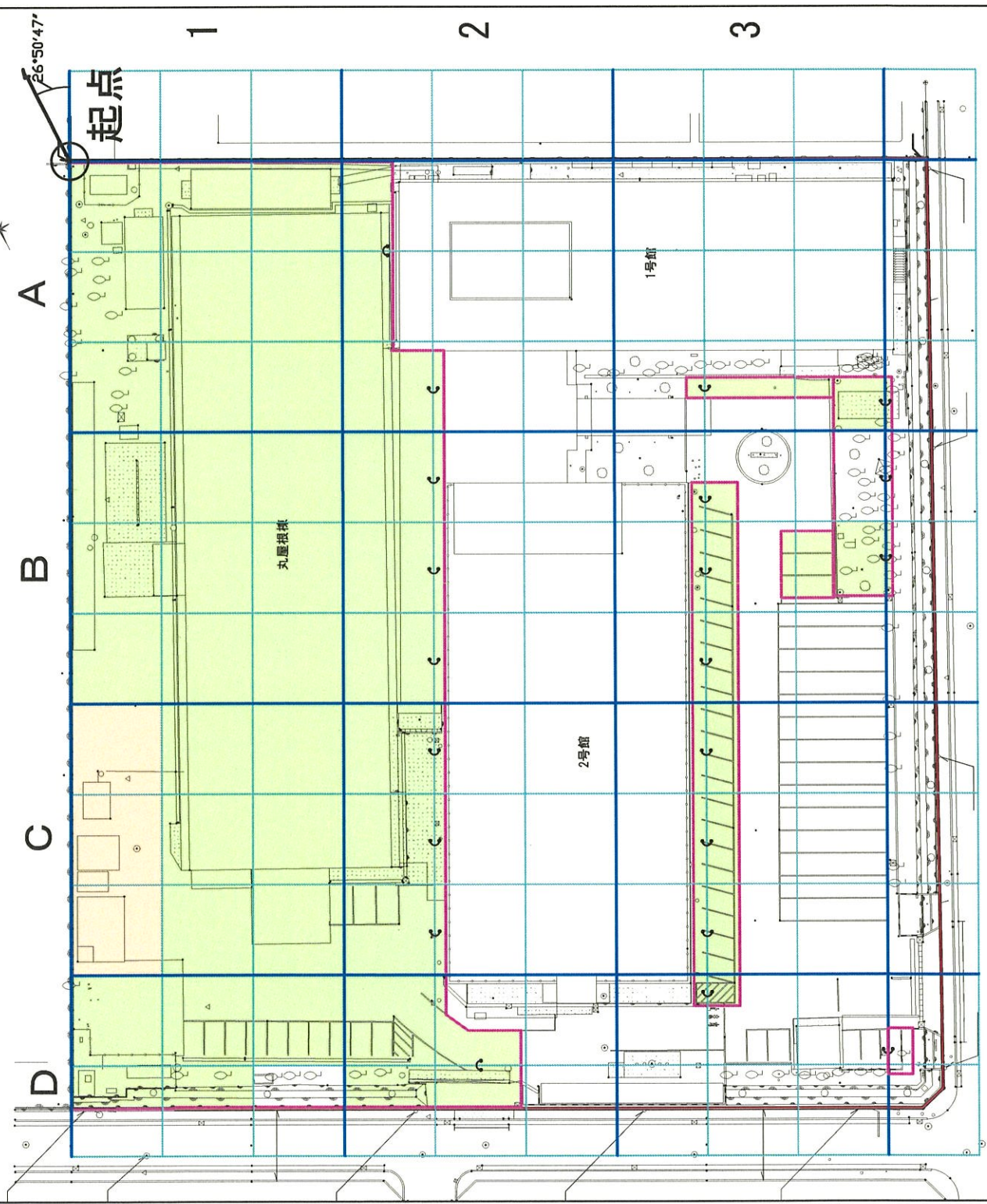
- [凡例]
- 敷地範囲
 - 調査対象地 (改変範囲)
 - 既存建物
 - 全部対象区画
 - 一部対象区画
 - 単位区画
 - 30m 格子
 - 区画統合

A

1	2	3
4	5	6
7	8	9

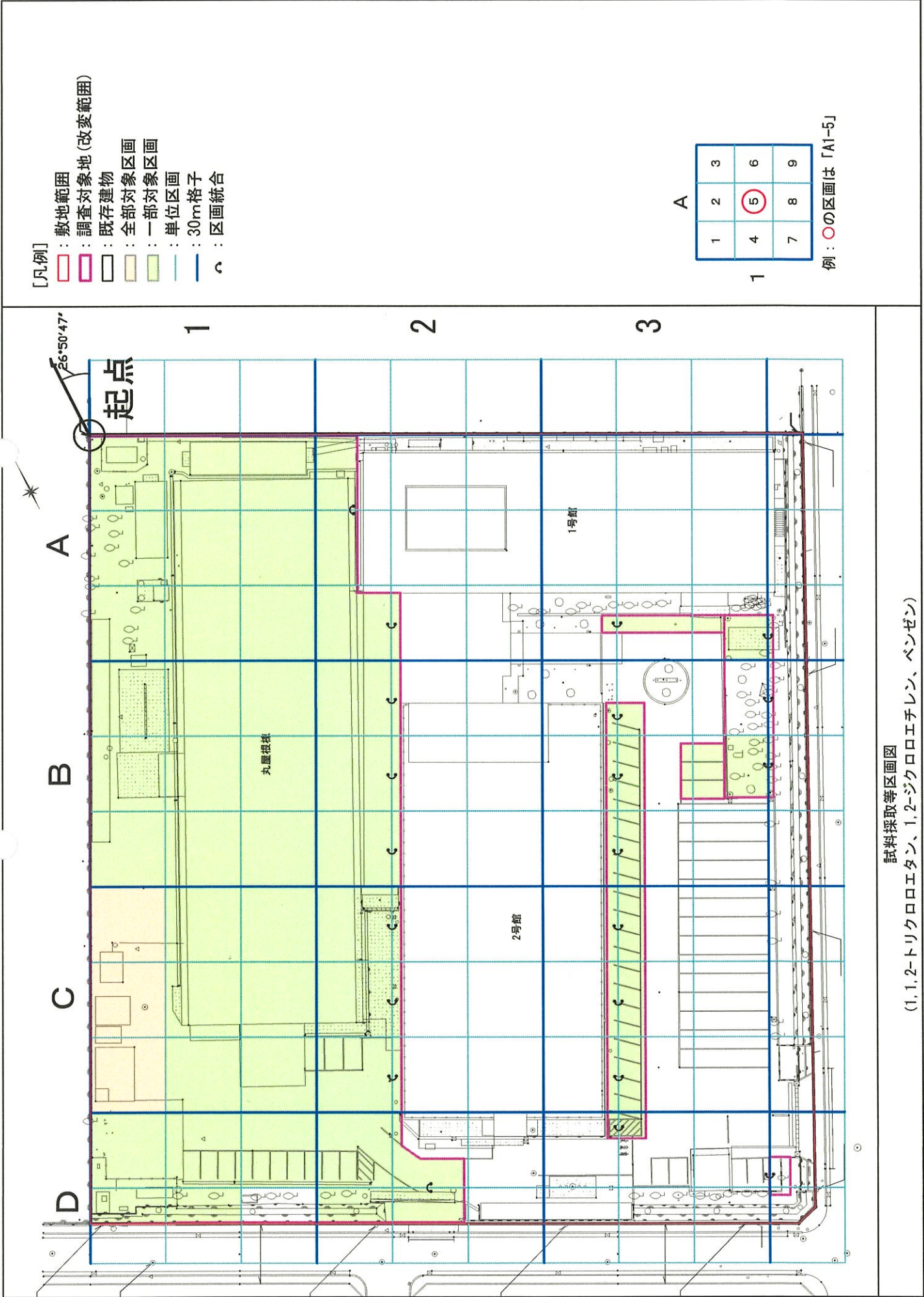
1

例：○の区画は「A1-5」

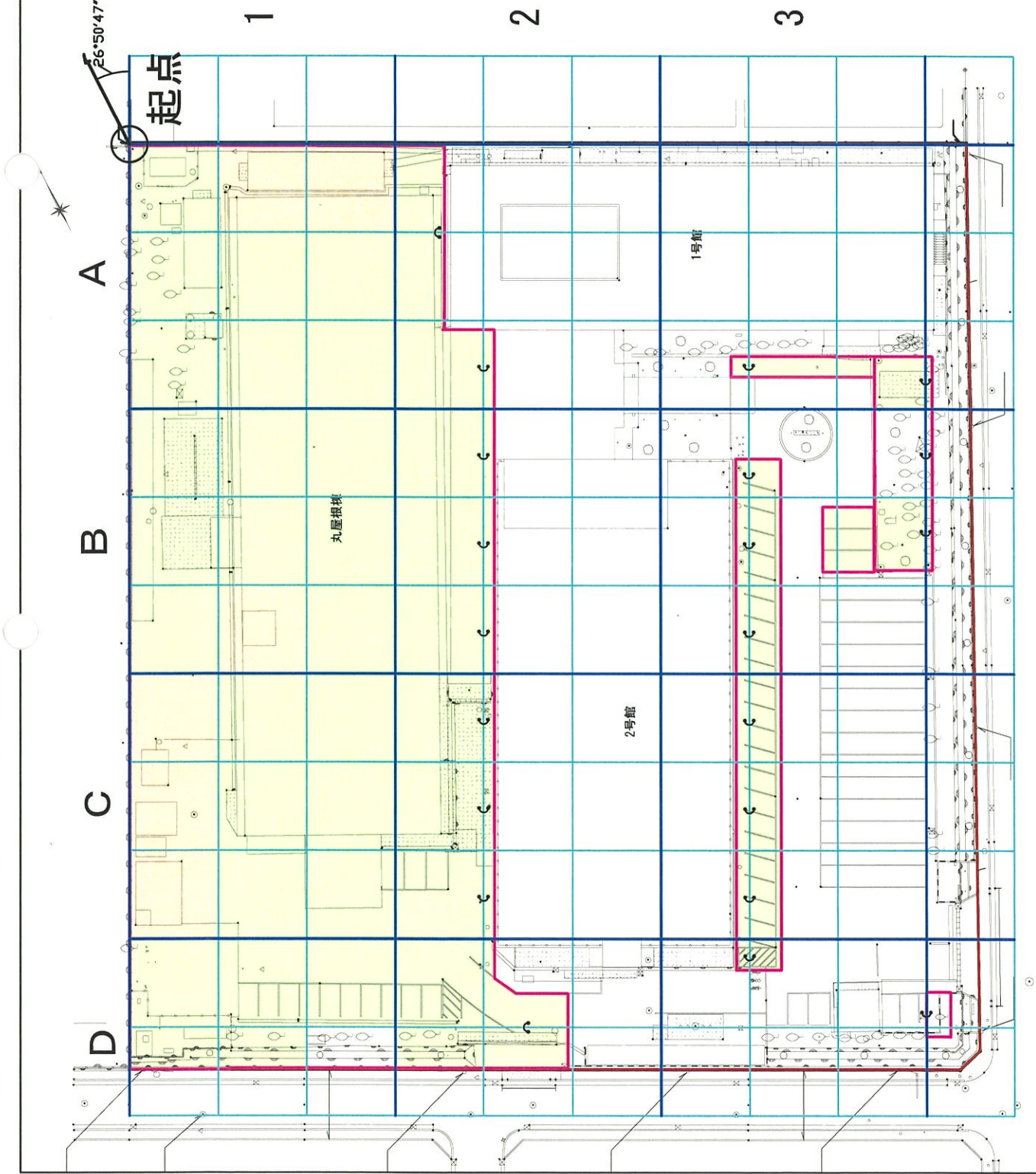


試料採取等区画図

(1,1,1-トリクロロエタン、1,1-ジクロロエタン、1,2-ジクロロエタン、クロエチレン、ジクロロメタン、四塩化炭素)



試料採取等区画図
(1,1,2-トリクロロエタン、1,2-ジクロロエチレン、ベンゼン)



- [凡例]
- : 敷地範囲
 - : 調査対象地 (改変範囲)
 - : 既存建物
 - : 全部対象区画
 - : 一部対象区画
 - : 単位区画
 - : 30m格子
 - : 区画統合

A

1	2	3
4	5	6
7	8	9

1

例 : ○の区画は「A1-5」

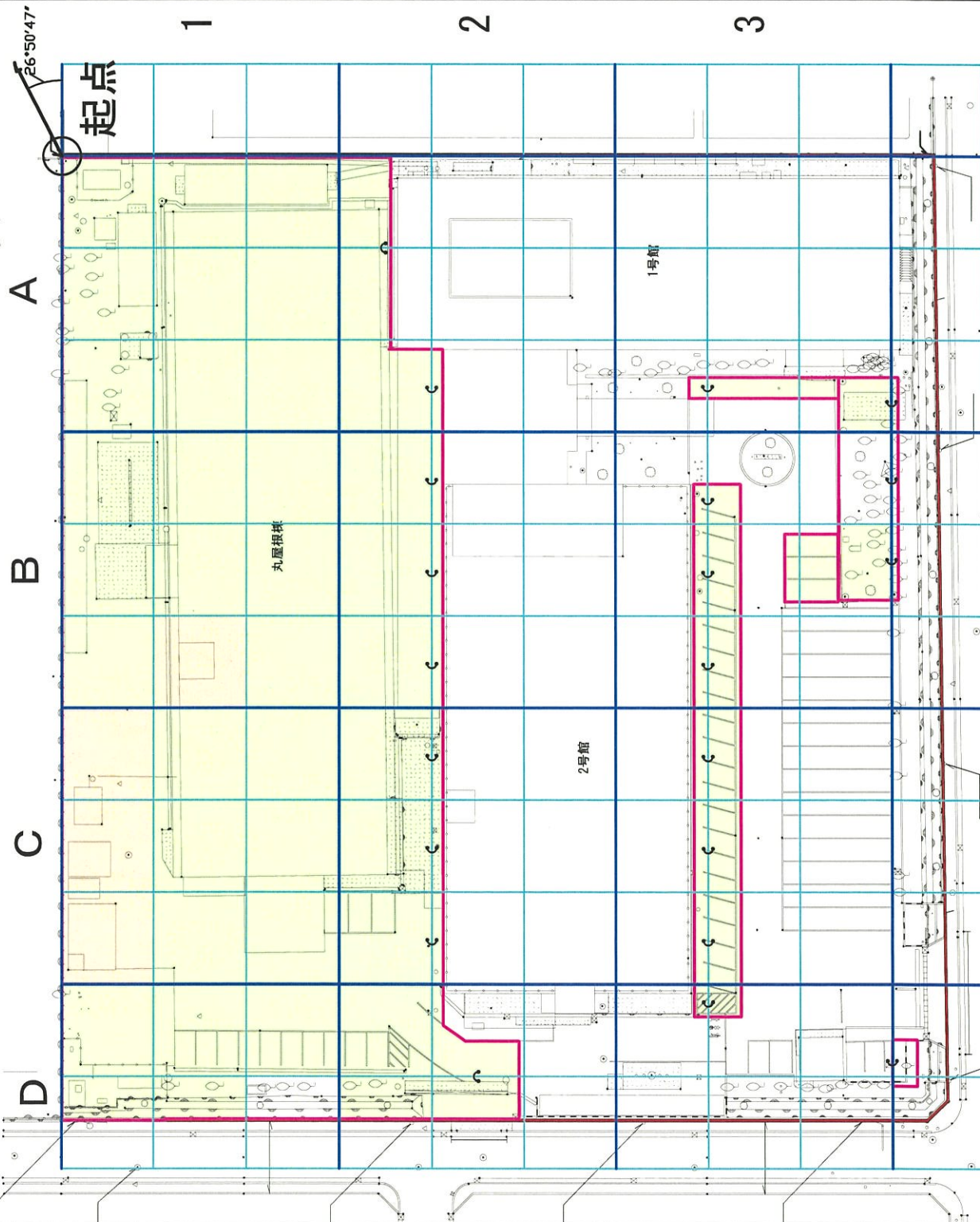
- [凡例]
- 敷地範囲
 - 調査対象地 (改変範囲)
 - 既存建物
 - 全部対象区画
 - 一部対象区画
 - 単位区画
 - 30m 格子
 - 区画統合

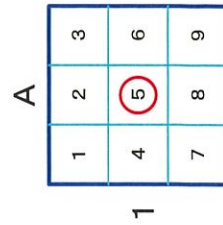
A

1	2	3
4	5	6
7	8	9

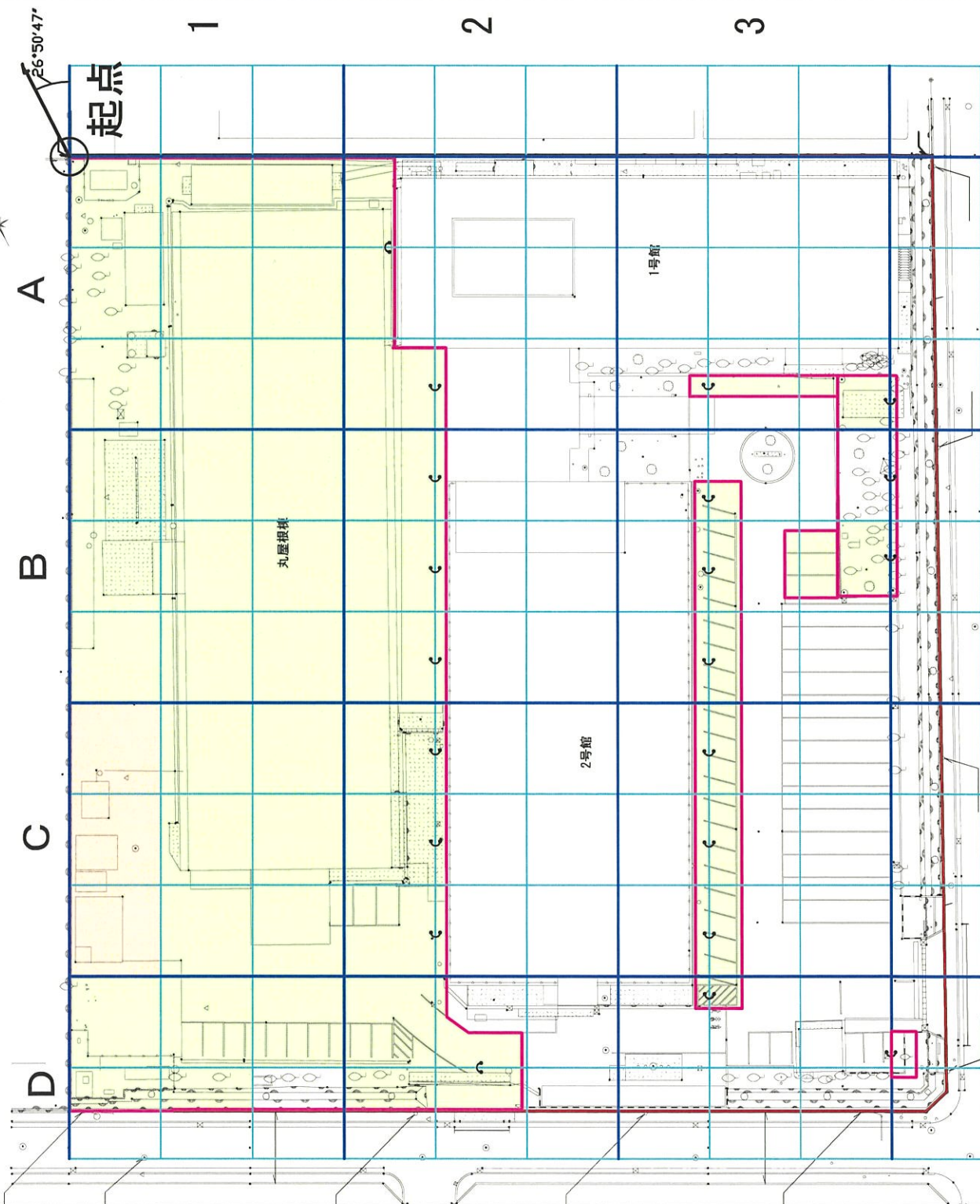
1

例：○の区画は「A1-5」



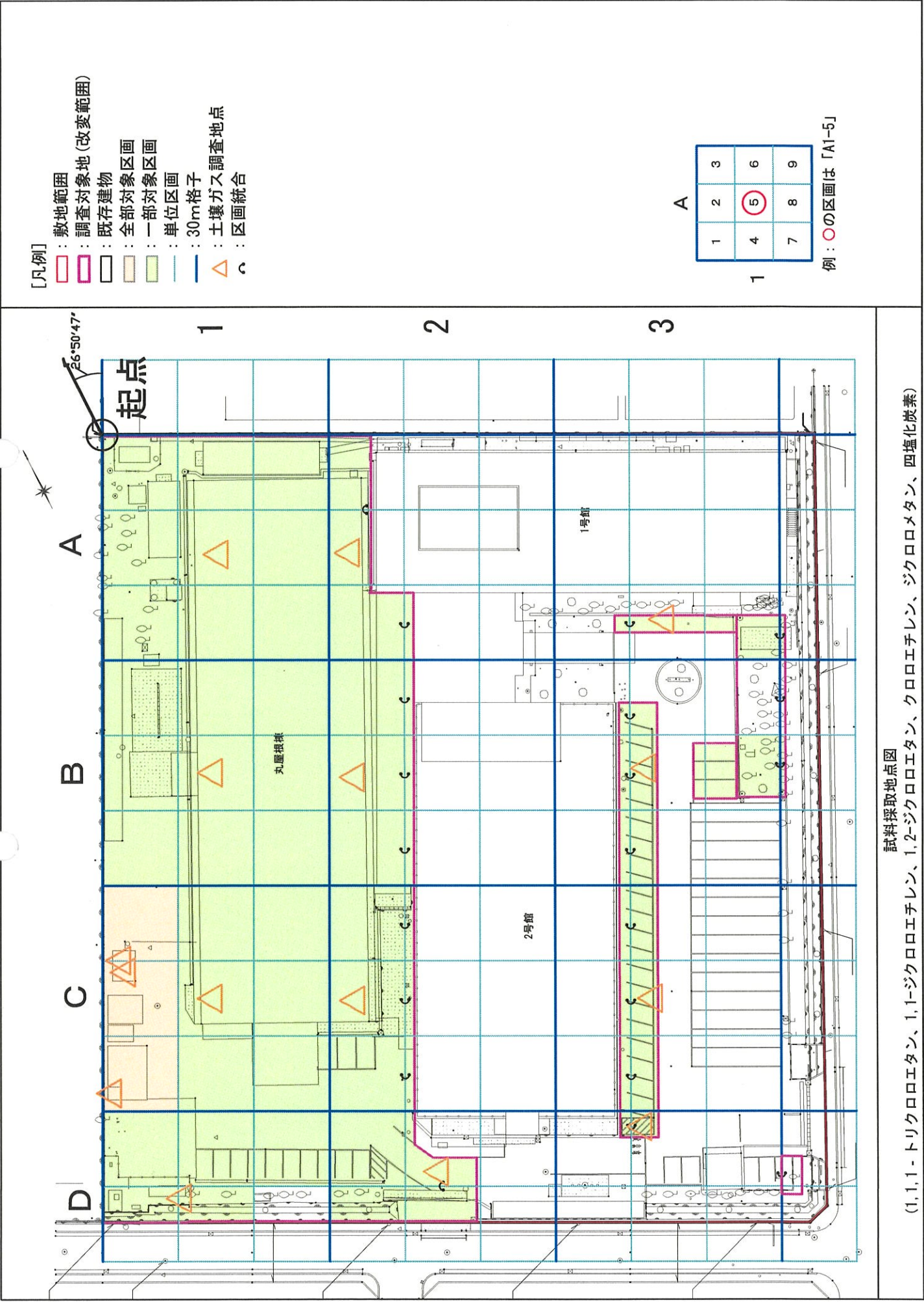


例：○の区画は「A1-5」

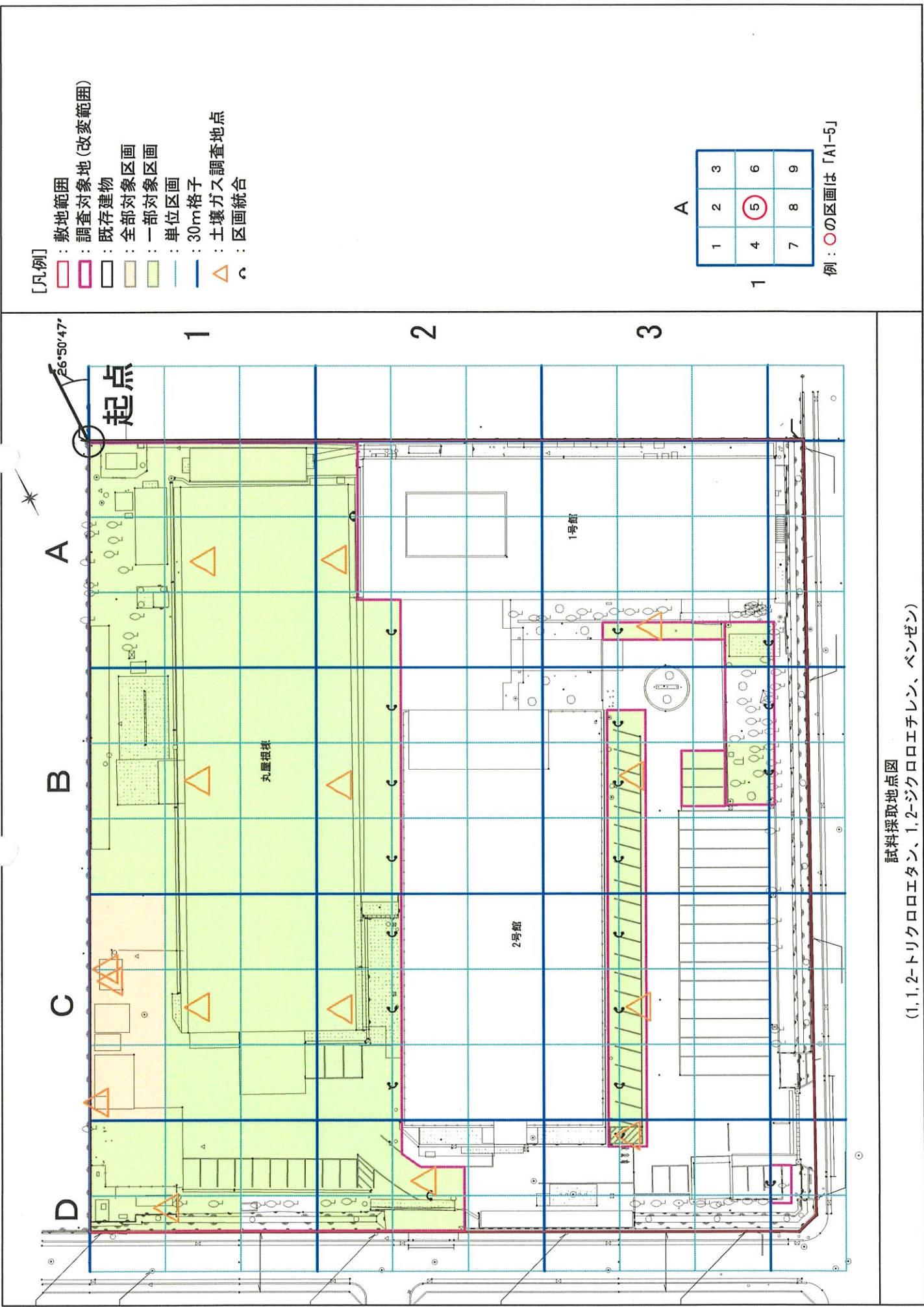


(カドミウム及びその化合物、六価クロム化合物、セレン及びその化合物、鉛及びその化合物、砒素及びその化合物、ほう素及びその化合物)

試料採取地点図
採取地点の設定理由



試料採取地点図
(1,1,1-トリクロロエタン、1,1-ジクロロエタン、クロロエチレン、ジクロロメタン、四塩化炭素)



- [凡例]
- 敷地範囲
 - 調査対象地(改変範囲)
 - 既存建物
 - 全部対象区画
 - 一部対象区画
 - 単位区画
 - 30m格子
 - 土壌ガス調査地点
 - 区画統合

A

1	2	3
4	5	6
7	8	9

1

例：○の区画は「A1-5」

試料採取地点図
(1,1,2-トリクロロエタン、1,2-ジクロロエチレン、ベンゼン)

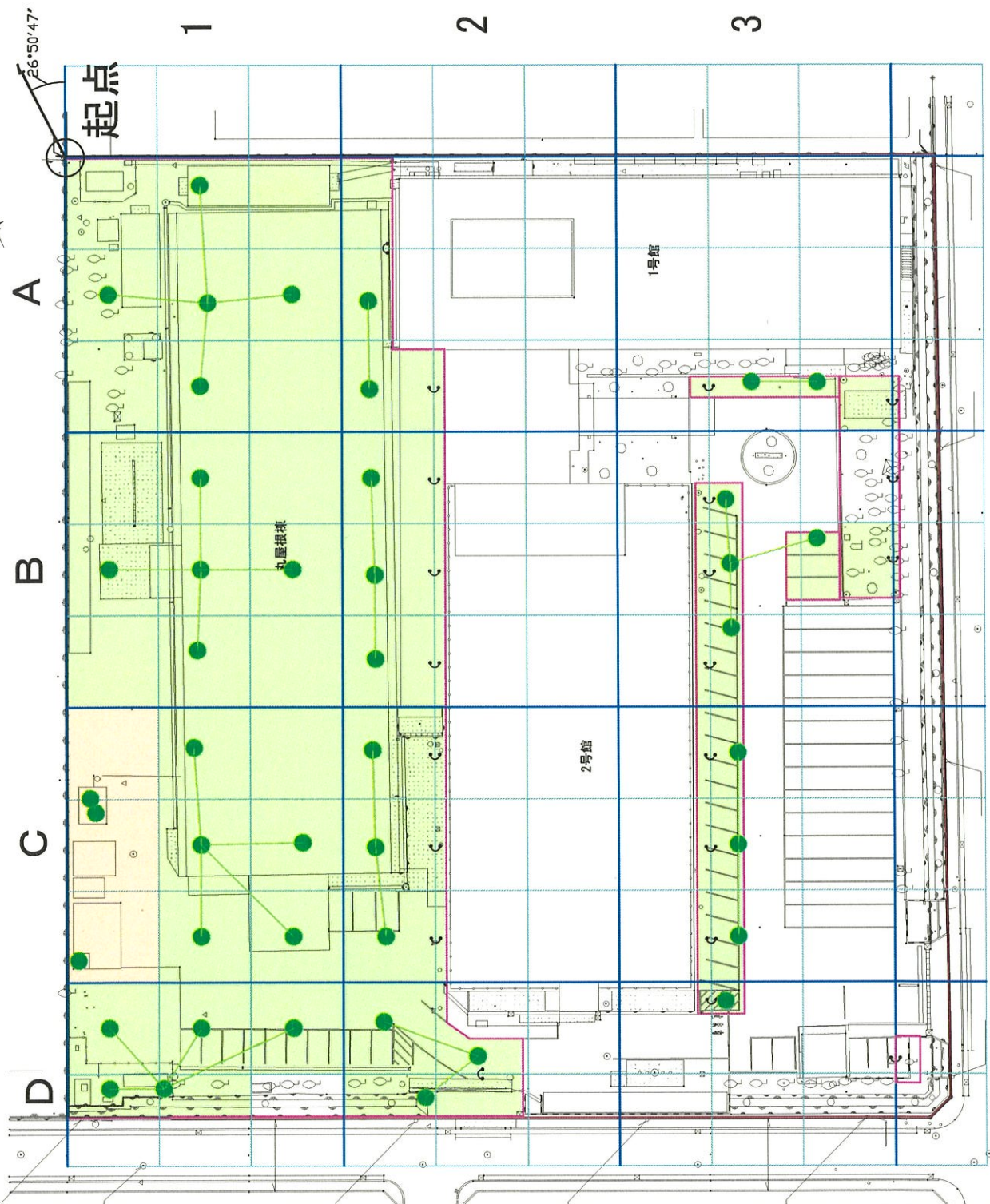
- [凡例]
- : 敷地範囲
 - : 調査対象地 (改変範囲)
 - : 既存建物
 - : 全部対象区画
 - : 一部対象区画
 - : 単位区画
 - : 30m 格子
 - : 土壌調査地点 (表層)
 - : 区画統合

A

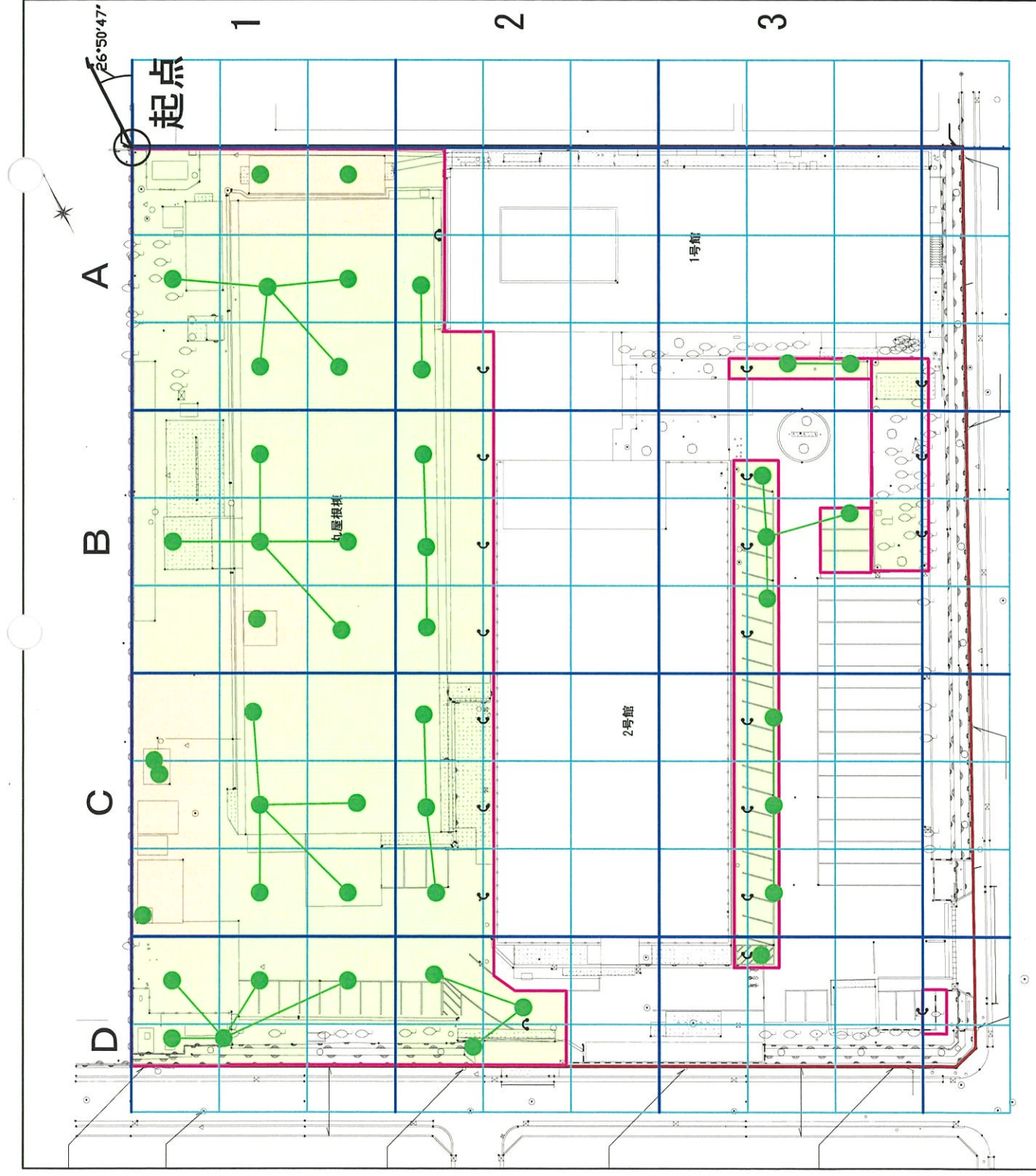
1	2	3
4	5	6
7	8	9

1

例 : ○の区画は「A1-5」



試料採取地点図 (シアン化合物)



- [凡例]
- : 敷地範囲
 - : 調査対象地 (改変範囲)
 - : 既存建物
 - : 全部対象区画
 - : 一部対象区画
 - : 単位区画
 - : 30m 格子
 - : 土壌調査地点 (表層)
 - : 区画統合

A

1	2	3
4	5	6
7	8	9

1

例 : ○の区画は「A1-5」

試料採取地点図 (水銀及びその化合物)

[凡例]

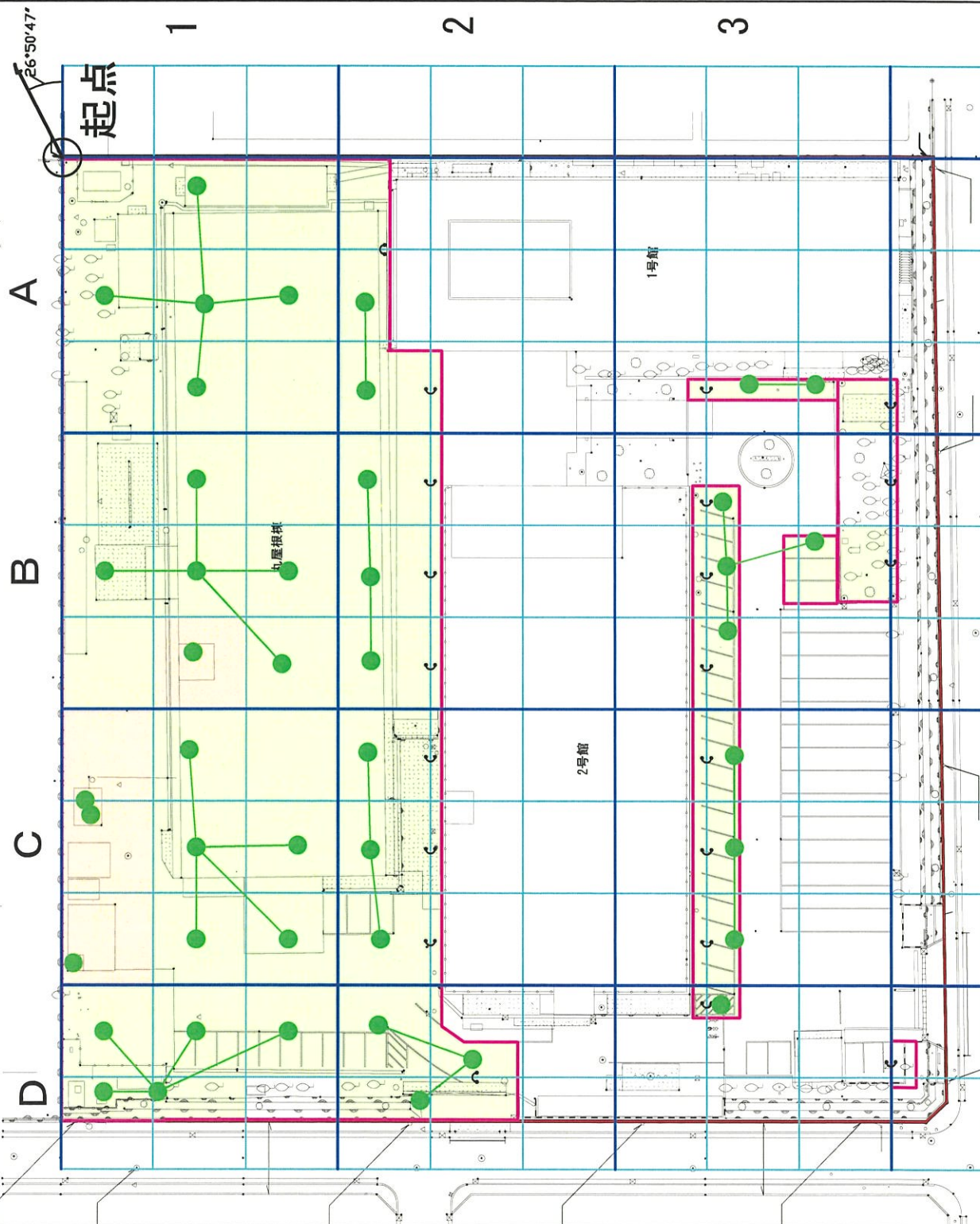
- : 敷地範囲
- : 調査対象地 (改変範囲)
- : 既存建物
- : 全部対象区画
- : 一部対象区画
- : 単位区画
- : 30m格子
- : 土壌調査地点 (表層)
- : 区画統合

A

1	2	3
4	5	6
7	8	9

1

例 : ○の区画は「A1-5」



試料採取地点図 (ふっ素及びその化合物)

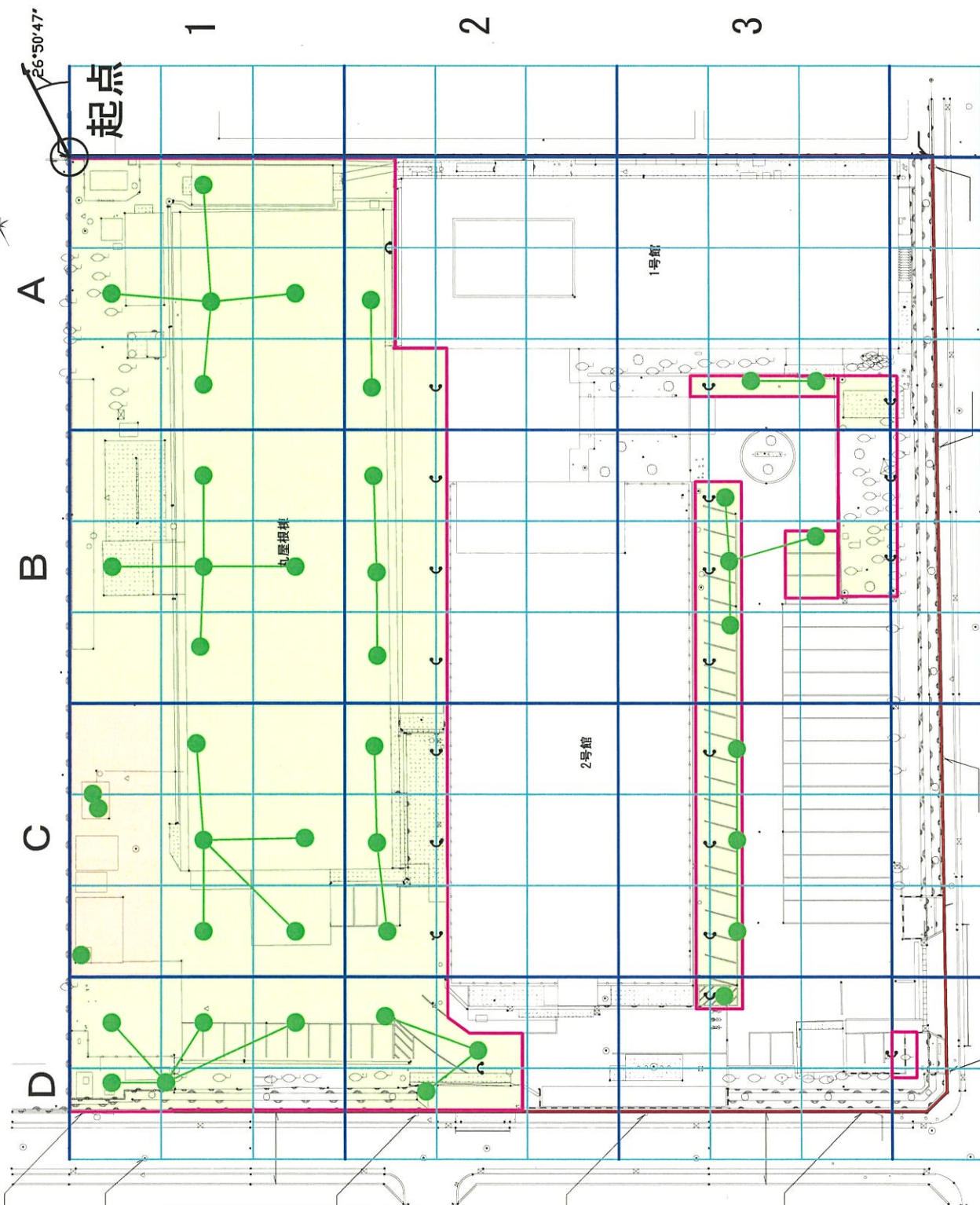
- [凡例]
- : 敷地範囲
 - : 調査対象地 (改変範囲)
 - : 既存建物
 - : 全部対象区画
 - : 一部対象区画
 - : 単位区画
 - : 30m格子
 - : 土壌調査地点 (表層)
 - : 区画統合

A

1	2	3
4	5	6
7	8	9

1

例 : ○の区画は「A1-5」



試料採取地点図

(カドミウム及びその化合物、六価クロム化合物、セレン及びその化合物、鉛及びその化合物、砒素及びその化合物、ほう素及びその化合物)

試料採取地点の設定理由	
A1-5	構造物があるため採取可能な位置に移動した。
A1-6	土壌汚染のおそれが生じた位置に移動した。
A1-7	構造物があるため採取可能な位置に移動した。
A1-9	土壌汚染のおそれが生じた位置に移動した。
A2-1	構造物があるため採取可能な位置に移動した。
A2-2	構造物があるため採取可能な位置に移動した。
A3-4	調査対象地内で土壌汚染のおそれが生じた位置に移動した。
A3-7	調査対象地内で土壌汚染のおそれが生じた位置に移動した。
B1-4	構造物があるため採取可能な位置に移動した。
B1-7	構造物があるため採取可能な位置に移動した。
B2-1	構造物があるため採取可能な位置に移動した。
B2-2	構造物があるため採取可能な位置に移動した。
B2-3	構造物があるため採取可能な位置に移動した。
B3-4	調査対象地内で土壌汚染のおそれが生じた位置に移動した。
B3-5	区画の中心が調査対象地外のため調査対象地内に移動した。
B3-6	区画の中心が調査対象地外のため調査対象地内に移動した。
B3-8	調査対象地内で土壌汚染のおそれが生じた位置に移動した。
C1-1	土壌汚染のおそれが生じた位置に移動した。
C1-2	土壌汚染のおそれが生じた位置に移動した。
C1-3	土壌汚染のおそれが生じた位置に移動した。
C1-6	構造物があるため採取可能な位置に移動した。
C1-8	構造物があるため採取可能な位置に移動した。
C2-2	構造物があるため採取可能な位置に移動した。
C2-3	構造物があるため採取可能な位置に移動した。
C3-4	調査対象地内で土壌汚染のおそれが生じた位置に移動した。
C3-5	調査対象地内で土壌汚染のおそれが生じた位置に移動した。
C3-6	調査対象地内で土壌汚染のおそれが生じた位置に移動した。
D1-2	調査対象地内で土壌汚染のおそれが生じた位置に移動した。
D1-5	調査対象地内で土壌汚染のおそれが生じた位置に移動した。
D2-2	調査対象地内で土壌汚染のおそれが生じた位置に移動した。
D2-3	構造物があるため採取可能な位置に移動した。
D2-6	区画の中心が調査対象地外のため調査対象地内に移動した。
D3-6	区画の中心が調査対象地外のため調査対象地内に移動した。

調査結果一覧表 土壌ガス調査

※各試料採取区画について、調査対象物質ごとの調査結果をリスト選択または自由入力により記入してください。（単位：ガスppm、地下水mg/L）

※記載行が足りない場合は50番目の行をコピーして行を追加してください。

調査対象物質		クロロエチレン	四塩化炭素	1,2-ジクロロエタン	1,1-ジクロロエタン	1,2-ジクロロエタン	1,3-ジクロロプロペン	ジクロロメタン	テトラクロロエタン	1,1,1-トリクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン	トリクロロエタン	ベンゼン
土壌ガス調査	調査区画数	15	15	15	15	15		15		15	15		15
	最大濃度	ND	ND	ND	ND	ND		ND		ND	ND		ND
	ガス検出区画数	0	0	0	0	0		0		0	0		0
地下水調査	試料採取等の省略	無	無	無	無	無		無		無	無		無
	調査区画数												
	最大濃度												
地下水調査	基準超過区画数												
	試料採取等の省略												

連番	起点番号	試料採取区画	調査の種類	30m格子内の評価区画	調査対象物質	クロロエチレン	四塩化炭素	1,2-ジクロロエタン	1,1-ジクロロエタン	1,2-ジクロロエタン	1,3-ジクロロプロペン	ジクロロメタン	テトラクロロエタン	1,1,1-トリクロロエタン	1,1,2-トリクロロエタン	トリクロロエタン	ベンゼン
1	1	A1-5	一部	1,2,3,4,5,6,7,8,9	ガス(ppm)	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.05
2	1	A2-2	一部	1,2,3	ガス(ppm)	0.002	0.002	0.004	0.1	0.04	0.002	0.02	0.01	1	0.006	0.01	0.01
3	1	A3-4	一部	4,7	ガス(ppm)	ND	ND	ND	ND	ND	-	ND	-	ND	ND	-	ND
4	1	B1-5	一部	1,2,3,4,5,6,7,8,9	ガス(ppm)	ND	ND	ND	ND	ND	-	ND	-	ND	ND	-	ND
5	1	B2-2	一部	1,2,3	ガス(ppm)	ND	ND	ND	ND	ND	-	ND	-	ND	ND	-	ND
6	1	B3-5	一部	4,5,6,8	ガス(ppm)	ND	ND	ND	ND	ND	-	ND	-	ND	ND	-	ND
7	1	C1-1	全部		ガス(ppm)	ND	ND	ND	ND	ND	-	ND	-	ND	ND	-	ND
8	1	C1-2	全部		ガス(ppm)	ND	ND	ND	ND	ND	-	ND	-	ND	ND	-	ND
9	1	C1-3	全部		ガス(ppm)	ND	ND	ND	ND	ND	-	ND	-	ND	ND	-	ND
10	1	C1-5	一部	4,5,6,7,8,9	ガス(ppm)	ND	ND	ND	ND	ND	-	ND	-	ND	ND	-	ND
11	1	C2-2	一部	1,2,3	ガス(ppm)	ND	ND	ND	ND	ND	-	ND	-	ND	ND	-	ND
12	1	C3-5	一部	4,5,6	ガス(ppm)	ND	ND	ND	ND	ND	-	ND	-	ND	ND	-	ND
13	1	D1-5	一部	2,3,5,6,9	ガス(ppm)	ND	ND	ND	ND	ND	-	ND	-	ND	ND	-	ND
14	1	D2-6	一部	2,3,6	ガス(ppm)	ND	ND	ND	ND	ND	-	ND	-	ND	ND	-	ND
15	1	D3-6	一部	6	ガス(ppm)	ND	ND	ND	ND	ND	-	ND	-	ND	ND	-	ND
16																	
17																	
18																	
19																	
20																	

この行より上に行を追加してください。

(日本産業規格A列4番)

※各試料採取区画について、調査対象物質ごとの調査結果をリスト選択または自由入力により記入してください。（単位：溶出量mg/L、含有量mg/kg）
※記載行が足りない場合は50番目の行をコピーして行を追加してください。

連番	起点 番号	試料採取 区画	調査の種類	30m格子内の 評価区画	標高 (m)	採取 位置	基準		溶出量											含有量												
							調査対象物質 採取深度 (m) \ 基準値 GL TP		カドミウム	六価クロム	シアニ	水銀	アルキル水 銀	セレン	鉛	砒素	ふっ素	ほう素	シマジン	チナベンカ ルブ	チウラム	PCB	有機りん	カドミウム	六価クロム	シアニ	水銀	セレン	鉛	砒素	ふっ素	ほう素
1	1	A1-2	一部	2, 4, 5, 6, 8		表層			ND	ND	ND	-	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	11	ND	ND	ND	ND				
2	1	A1-2	一部	2, 4, 5, 7, 8		表層			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
3	1	A1-6	全部		117.12	表層		117.12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
4	1	A1-9	全部		117.14	表層		117.14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-				
5	1	A2-1	一部	1, 2		表層			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND				
6	1	A3-4	一部	4, 7		表層			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.08	ND	-	-	-	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND				
7	1	B1-2	一部	2, 4, 5, 6, 8		表層			ND	ND	ND	-	ND	ND	ND	ND	-	ND	-	-	-	-	ND	ND	ND	-	ND	ND				
8	1	B1-2	一部	2, 5, 6, 7, 8		表層			-	-	-	ND	-	-	-	-	ND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	110	-				
9	1	B1-4	全部		117.09	表層		117.09	-	-	-	ND	-	-	-	ND	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	110	-				
10	1	B2-1	一部	1, 2, 3		表層			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	-	-	-	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND				
11	1	B3-4	一部	4, 5, 6, 8		表層			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.001	ND	0.08	ND	-	-	-	-	ND	ND	ND	ND	ND				
12	1	C1-1	全部		116.98	表層		116.98	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.11	ND	-	-	-	-	ND	ND	ND	ND	12	ND				
13	1	C1-2	全部		117.15	表層		117.15	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	ND	ND	ND	27	ND				
14	1	C1-3	全部		117.16	表層		117.16	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.09	ND	-	-	-	-	ND	ND	ND	ND	21	ND				
15	1	C1-4	一部	4, 5, 6, 7, 8		表層			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND				
16	1	C2-1	一部	1, 2, 3		表層			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.001	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	ND	ND	ND	ND				
17	1	C3-4	一部	4, 5, 6		表層			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.001	ND	0.11	ND	-	-	-	-	ND	ND	ND	ND	ND				
18	1	D1-2	一部	2, 3, 5, 6, 9		表層			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	0.1	ND	-	-	-	-	ND	ND	ND	ND	61	ND				
19	1	D2-2	一部	2, 3, 6		表層			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND				
20	1	D3-6	一部	6		表層			ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	-	-	-	-	ND	ND	ND	ND	ND	ND				
21																																
22																																
23																																
24																																
25																																
26																																
27																																
28																																
29																																
30																																
31																																
32																																
33																																
34																																
35																																
36																																
37																																
38																																
39																																
40																																
41																																
42																																
43																																
44																																
45																																
46																																
47																																
48																																
49																																
50																																
51																																
52																																

この行より上に行を追加してください。
(日本産業規格A列4番)